

琉球泡盛海外輸出プロジェクト概要

目的

琉球泡盛の海外展開を促進するため、官民の関係者一体となった取組を推進
(目標値) 平成32年(2020年) 70KL、平成34年(2022年) 100KL
※現状(平成29年(2017年)) 29KL



構成

目的に賛同する関係団体、地方公共団体、関係府省などで構成

【顧問】 宮腰光寛 内閣総理大臣補佐官

【会長】 小泉武夫 東京農業大学名誉教授

【副会長】 玉那覇美佐子 沖縄県酒造組合会長

【会員】 (関係団体等) 沖縄県酒造組合、沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県産業振興公社、沖縄県ホテル協会、沖縄観光コンベンションビューロー、泡盛マイスター協会、日本ソムリエ協会、沖縄県物産公社、沖縄振興開発金融公庫 (ほか (地方公共団体・関係府省) 沖縄県、内閣府、国税庁、内閣官房、外務省、農水省、観光庁、JETRO

取組内容

- ・琉球泡盛の輸出促進に関する取り組みの具体化・工程表の策定
- ・各構成員による関連プロジェクトの実施、及び各プロジェクト間での連携推進
- ・プロジェクト会合を開催し、構成員相互の取り組みについて情報交換

具体的な関連プロジェクトの例

- ・在外公館等を活用したPRイベントの実施
- ・海外の大型展示商談会への出展などビジネスマッチングの場を提供
- ・泡盛の海外プロモーションに係る調査事業を実施

プロジェクト会合

平成30年1月29日：第1回準備会合(那覇市内)
平成30年3月 7日：第2回準備会合(那覇市内)
平成30年4月13日：会合(那覇市内)
平成30年4月14日：設立記念イベント(那覇市内)

行動計画（概要）

～海外輸出拡大に向け業界の数値目標 70 kL“倍増”実現！～

【行動計画】

- プロジェクト会員（個人及び団体）が、「訪日外国人」と「海外市場」の2つの視点と、6分野53の取組で泡盛酒造所の海外輸出を官民一体となって後押し

【視点1】訪日外国人に対する視点

- 特に中国本土をはじめとするアジアからの観光客に泡盛の魅力を効果的に伝え「泡盛ファン」を増やす
- 沖縄県内でスムーズに泡盛を「観光土産」として購入できるようにする
- 帰国後も「泡盛ファン」（＝インフルエンサー）として泡盛の普及につなげる

【視点2】海外市場に対する視点

- 泡盛は、ウオッカ、ジン、テキーラ等と並ぶ世界的な「ハードリカー」としての可能性が秘められており、北米、欧州の市場への浸透を図る
- 海外の市場への浸透を図るため、ターゲットを絞ったプロモーションを進め、泡盛の認知度向上に向けた取組を進める

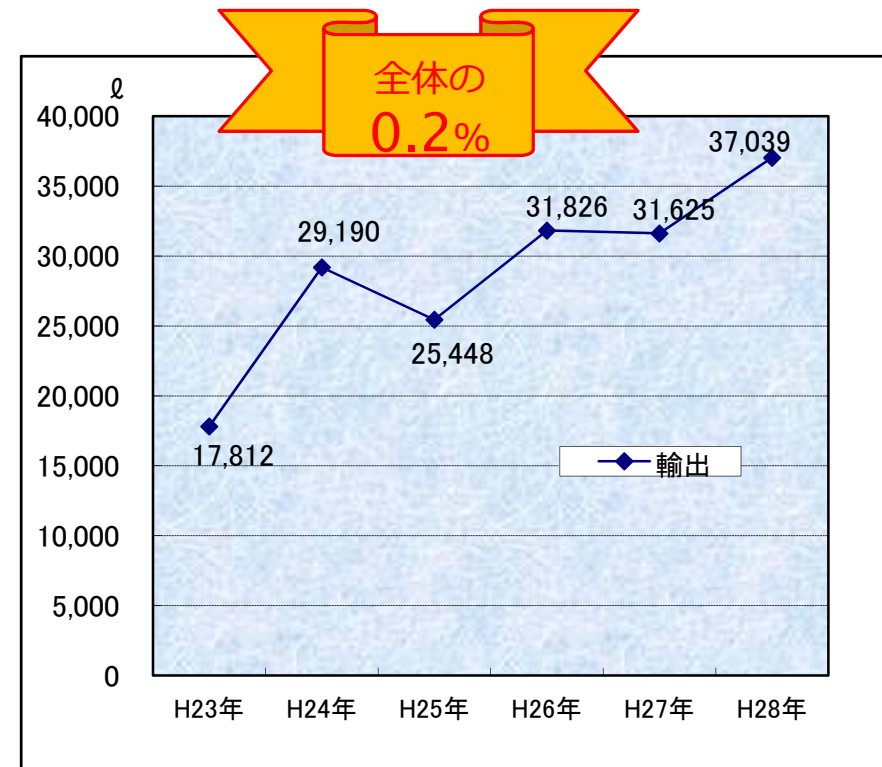


琉球泡盛 海外輸出数量の現状

- ①平成28年の輸出酒造所数は【20社】
で平成23年度と比較して2倍以上の輸出数量
- ②平成28年の移出数量（18,731kl）に
占める輸出数量の割合は【0.2%】
- ③平成28年の海外輸出割合（酒造組合
調べ）
1位 アジア（66.5%）
2位 アメリカ（31.1%）
3位 欧州（1.4%）

上位の海外輸出国割合について

- | | | |
|-----------|-------------|----------------|
| 1位 | 香港 | (31.2%) |
| 2位 | アメリカ | (31.1%) |
| 3位 | 台湾 | (14.2%) |
| 4位 | 中国 | (9.6%) |
| 5位 | タイ | (4.3%) |
| 6位 | 韓国 | (3.9%) |



■輸出国（平成28年時点） ※合計24カ国

アメリカ・カナダ・メキシコ・台湾・香港・マカオ・中国・韓国・シンガポール・マレーシア・タイ・フィリピン・ベトナム・パラオ・インド・ネパール・ロシア・オランダ・スペイン・スイス・フランス・ベルギー・オーストラリア・ニュージーランド

海外展開の取り組み — 1 —

① アイスランドミッション

- ・ 北欧アイスランドでの現地消費者調査を実施
現地の消費者へ原材料を明かさず、意見交換をした際に、「高級なウォッカ」「上質なジン」と好評価！
- ・ 欧米市場に向け「泡盛カクテルコンペティション」を実施（2018/2/11）
現地消費者向けの泡盛カクテルを開発し、泡盛の特徴や歴史的背景を踏まえた上で、更なる泡盛ブランド拡大を狙う
レイキャビック市内のバーテンダー15名が参加し、「味わいがしっかりして泡盛にカクテルベースとしての可能性を感じる」「名前の知られていないアルコールが世の中にまだ存在することに驚き」等の声があった。



琉球新報社 朝刊
2017年12月7日（経済面）



（株）Blueship沖縄 提供



沖縄タイムス社 朝刊
2017年12月8日（経済面）

② 日タイ修交130周年記念事業

- ・ タイで泡盛に関する基調講演及び商品PR（県アジア経済戦略課）
- ・ 外務省主催天皇誕生日祝賀レセプション



沖縄県酒造組合 提供
2017年11月21日～23日

沖縄県酒造組合作成資料より

海外展開の取り組み — 2 —

③ロサンゼルスでの泡盛販路拡大

- ・アルコール度数が高い商品が特に人気
- ・糖質ゼロのヘルシーさが口コミで話題沸騰
- ・40度以上の泡盛、ロックでの飲用が特に人気！



沖縄タイムス社 朝刊
2017年1月7日（経済面）

④海外優良インフルエンサー招聘ツアー企画

（日本酒造組合中央会）

2017年10月23日
沖縄県酒造組合 提供



インフルエンサーの配信サイト：<https://talesofthecocktail.com/in-depth/ancient-art-awamori>

沖縄県酒造組合作成資料より

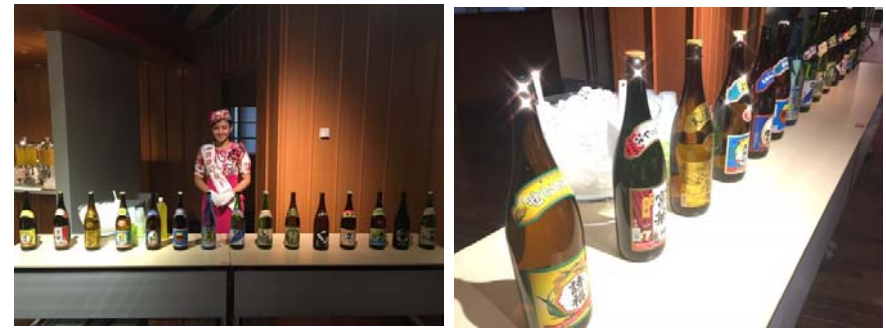
海外展開の取り組み — 3 —

⑤ 外務省在外公館 推奨商品

- ・ 在外公館のパーティーに 泡盛使用
(外務省が初採用！)
- ・ 2018年2月 外務省主催
シンガポールで琉球泡盛を P R !



⑥ OCVBと連携したMICE事業



沖縄県酒造組合 提供
2017年8月23日

⑦ 泡盛マイスター協会

- ・ 台湾主要大学での琉球泡盛学講座の実施
- ・ シンガポールでのエリートバーテンダーコース



沖縄県酒造組合作成資料より

海外展開の取り組み — 4 —

⑧海外クルーズ船内での商品プロモーション



沖縄県酒造組合 提供
2017年10月

⑨県内観光地でのインバウンド対応（首里城銭蔵でのプロモーション）



沖縄県酒造組合 提供 2017年11月1日～5日

⑩外国人観光客受け入れの環境整備

- ・ 3 1 酒造所が酒蔵ツアーやライン見学、泡盛の製造体験などでの受け入れ対応を行っている
- ・ 英語対応職員の配置、多言語パフレットやビデオ等により多言語対応を行っている。



沖縄県酒造組合作成資料より